

経営比較分析表（平成30年度決算）

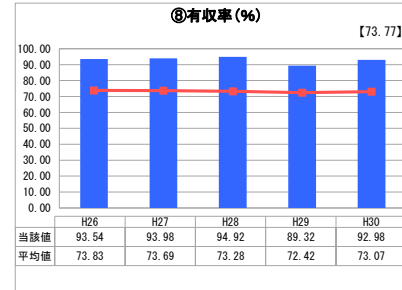
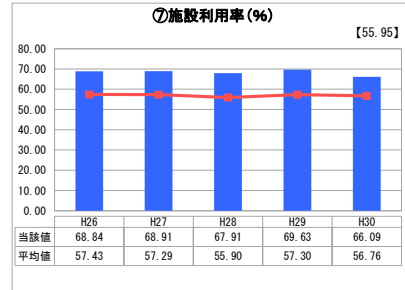
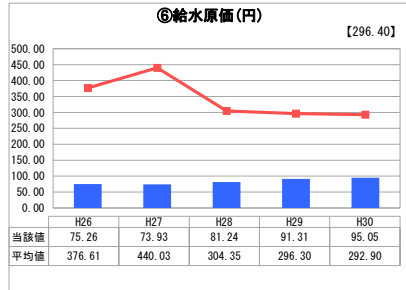
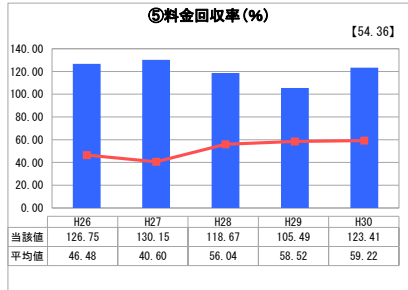
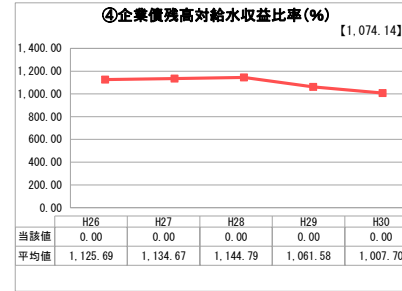
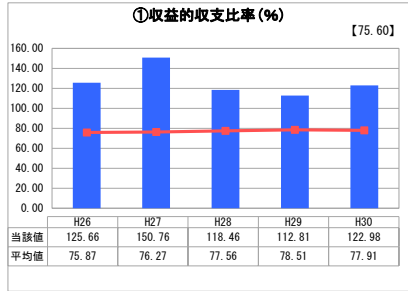
岐阜県 垂井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	14.41	2,130	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
27,467	57.09	481.12
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,951	6.89	573.44

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

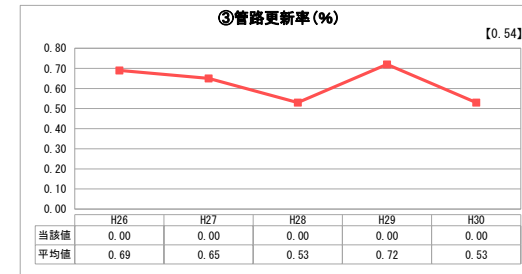
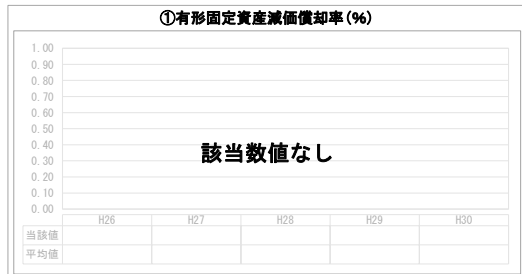
・経営の健全性について
平成30年度は料金改定を行ったことから、給水収益が増加し、収益的収支比率は100%を上回りました。
また、料金回収率が100%を超えましたので、給水に係る費用は水道料金によって賄えていることになり、経営が健全であることがいえます。
しかし、給水原価は年々増加傾向にあります。これは、老朽化設備の更新・修繕費用の増加のためです。
さらに、人口減少・節水意識の向上により、有収水量は減少すると見込まれるため、給水原価は今後も増加すると考えられます。

・経営の効率性について
施設利用率、有収率は類似団体と比較して良好な状態といえます。
しかし、施設利用率が年々減少傾向にあります。これは、人口減少・節水意識の向上により有収水量が減少したためと考えられます。

2. 老朽化の状況について

管路更新率は0%となっています。これは、現在、法定耐用年数を超えた管路がないためです。今後は、耐用年数の到来を見据えた計画的な管路の更新が必要になります。

2. 老朽化の状況



全体総括

現在は、水道料金によって給水に係る費用を賄えており、類似団体と比較しても良好な経営状況であることがいえます。
しかし、人口減少・節水意識の向上により有収水量は減少していくことが予測されます。
また、老朽化施設・管路等の増加により、更新・修繕費用は今後増加すると考えられることから、財務の確保を図り、更なる費用の削減に努めていきます。
また、経営状況を正確に把握するために地方公営企業法の適用を進めていきます。